



## プレス発表が社員に及ぼす影響 支社は認識 明確にせず

### 申2号・社員に責任を負わせるプレス発表に対する緊急申し入れ 団体交渉

新潟地本は9月25日に、申2号・社員に責任を負わせるプレス発表に対する緊急申し入れの団体交渉を行いました。

豊栄駅で一部のお客さまがワンマン列車に乗りできなかったことが、運転士に責任があるかの様な形で報道されたことに対して、プレス発表を行った新潟支社の考えを質しました。

#### 世の中に影響あればタイムリーに発表 プレスの判断に明確な基準はなし

プレス発表の内容を明らかにするよう求め、「白容は報道機関に委ねてい

新線豊栄駅においてお客さまが列車に乗りできないまま列車が発車した事象としてプレス発表した」との回答を受けました。

具体的内容内容を質すと支社側は、冒頭の謝罪文、発生日時、発生場所、列車、概況、原因、今後の対応からなるプレスの本文を読み上げ、内容を明らかにしました。

プレスの内容は「会社の指導が悪かった」という趣旨だと説明した支社側に対して組合側は、このプレス内容では、お客さまが一人も乗車できなかったように受け取れることを指摘しました。

その上で、乗務員に責任があるかの様な報道もあることから、報道機関によって内容がまちまちである理由を質しました。

支社側は、プレス自体は統一した内容であり、人数等の詳細についてマスコミから問い合わせがあったものには対しては広報

支社側は、試験等による混雑ではないことや、後続列車まで時間があり案内できなかった事などにより、今回は発表する判断を行ったとしました。

支社側は、総論としてプレス発表しないと世間に様々な影響があるため発表しているとしました。

その上で、後からお客さまより指摘されたり、SNSで拡散されたりすると知らなかったでは済まされず、隠蔽ととられないためにタイムリーに発表しなければならぬとの考えを示しました。

#### 運転士の取扱い誤りではなく 責任はないが確認は不十分との認識

会社としては発生した事実をプレスしている認識だとした支社側に対し、今回の件は運転士に責任があるのかを質しました。

支社側は当初、「ミラーで確認はしているが、ホームの滞留の解消を待つ、放送をする、窓から顔を出す」などを示しました。

組合側は、乗務員の取扱いに抜けはなく、ミラーで乗降を確認しているのに確認不足とはならないと指摘しました。

支社側は、乗車しようとしてボタンを押すお客さまがいたという事実があり、表現が難しいが、「確認不足ではあるが取扱い誤りと

はなっていない」との考えを示しました。

乗降確認をして、乗降が終了したと判断すればドアを閉めて発車するのが通常の作業であり、今後どうの様に指導するのか質すと支社側は、確実に乗降を確認して、ホーム上が滞留により確認し辛い状況で

えを示しました。

しかしその一方で、報道機関へ訂正は特に求めていないとしました。

プレス発表の結果、現場社員に責任を負わせる報

#### 会社の認識と異なる報道内容にも 支社としてマスコミに訂正は求めず

支社側は「会社の責任で発生させてしまったという認識でプレス発表しているが、報道を見た人が社員に責任があると捉えるのは否定できない」との考えを示しました。

えを示しました。

しかしその一方で、報道機関へ訂正は特に求めていないとしました。

プレス発表の結果、現場社員に責任を負わせる報

## 全組合員の力をあわせて 職場の労働環境改善を実現しよう!

### 酒田地区分会第10回定期総会



酒田地区分会は9月5日、庄内統括センター講習室において第10回定期総会を開催しました。

JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方についての提案を受け、来年度には大きく私たちの労働条件などが変わろうとしています。

この施策に対して安心して働ける制度の実現を目指す為にも、まずは身近な労働環境改善などを全組合員で奮闘し合いながら実現していくことを確認しました。

職場の問題点をはじめ、レクを通じての組織強化、組織の拡大に向けて、安全に対してなど活発な発言により、総会の内容を全体でより一段と高めることが出来ました。

酒田地区分会でこの間培ってきた運動に対して、良い面は伸ばし、反省点は改良しながら、親身になって職場の問題改善に向けて今後も取り組んでいきます。

(酒田地区分会投稿)

酒田地区分会は9月5日、庄内統括センター講習室において第10回定期総会を開催しました。